

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-3-2	4-2-4	事業名	ウインタースポーツ振興事業
担当	観光文化局スポーツ部企画事業課 大井 211-3044			
全体計画（当初）				
事業内容	ウインタースポーツの活性化を図るため、地域の取り組み状況などの調査を行うとともに、身近にウインタースポーツに親しむことができるよう、地域レベルでの活動を推進する。 そのため、17年度は区や地域等で行われているウインタースポーツ関連の情報を収集する。18年度には小冊子（主に企画、運営者が活用できる成功例やアイデア集を想定）を作成し、それをもとにウインタースポーツの啓発を図る。		＜年度別の事業内容＞	
			16年度...なし 17年度...地域でのウインタースポーツ関連情報の収集 18年度...情報の整理と啓発活動	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	なし		<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツプログラムを提供している（財）札幌市スポーツ振興事業団（現（財）さっぽろ健康スポーツ財団）に「ウインタースポーツ振興」を主題とした研究を委託して事業実施主体及び学識者・研究者を交えた実践研究の組織を立ち上げ、「子どもに対する冬の外遊びの普及」等のウインタースポーツ振興方策についての調査研究を共同で進めた。 ・スポーツクラブサポロ及び教育委員会と協力して「中学校スキー授業支援モデル事業」をFu's（藤野野外スポーツ交流施設）において実施した。 ・スポーツの一流選手とのふれあいを通じてスポーツに親しむきっかけづくりを行う「トップアスリートの積極活用事業」と連携し、ウインタースポーツの啓発を行った。 	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・（財）札幌市スポーツ振興事業団（現（財）さっぽろ健康スポーツ財団）に「地域スポーツ及びウインタースポーツの振興」を主題とした研究を委託し、事業実施主体及び学識者・研究者を交えた実践研究組織において、地域におけるウインタースポーツ活動に関連する情報の収集を行うとともに、2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会を活用した「学校における歩くスキー体験モデル事業」を小学校4校を対象に実施するなど振興方策についての調査研究を行った。 ・実施率の低下が著しい市立中学校のスキー授業の継続、復活をねらいとした「札幌市立中学校スキー授業支援事業」を教育委員会学校教育部指導室との共催で実施した。財団法人札幌スキー連盟及びスキー場を運営する10社の協力を得て、23校のスキー授業に外部講師としてインストラクターの派遣を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ウインタースポーツ振興方策についての実践研究では、ウインタースポーツ活動に関連する情報収集や各種モデル事業の実施により、ウインタースポーツに関する意識・動向についての情報を得ることができ、今後の普及・振興方策の推進にあたって有効な資料を得ることができた。 ・市立中学校スキー授業支援事業では、スキー関係団体との協働による事業実施のしくみづくりを進め、支援校のスキー授業の充実を図ることができた。 	
課題				
		<p>FISノルディック世界選手権札幌大会を盛り立てる気運の醸成に力点を置いた取組みから、長期的展望に立ち、同大会の開催効果・資産を活用し、ウインタースポーツをライフスタイル化するための着実な取組みへと移行する必要がある。そのためには、実践中のモデル事業の定例化はもとより、スポーツ振興計画の実行計画化の中での「ウインタースポーツ」の位置づけ、社会情勢との整合等の論理研究も含めた調査研究を継続する必要がある。</p>		
19年度以降の方向性・事業の予定				
<p>札幌ならではの特性を活かしたスポーツ文化であるウインタースポーツのライフスタイル化を目指し、誰もがウインタースポーツに親しむことができるよう体験機会の充実を図る。</p> <p>ライフスタイル化にむけては、競技種目にこだわらない広い視点から、雪や寒さを楽しむレクリエーションも含めたウインタースポーツの活性化が課題となっていることから、各種モデル事業をはじめとする実証実験事業の実施により、活性化方策についての調査研究を継続する。</p> <p>また、ウインタースポーツの関係団体と連携を図り、調査研究の成果を活かした新たなプログラム開発や事業実施のしくみづくり、指導者の育成などを推進する。</p>				

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード	3-3-2	4-2-4	事業名	ウインタースポーツ振興事業
---------	-------	-------	-----	---------------

事業費の推移

項目		16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)
計画	事業費	0	1,000	2,000	3,000	-
	財源内訳					
	国・道支出金				0	-
	市債				0	-
	その他				0	-
実績	事業費	0	1,000	1,798	2,798	93.3
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	-
	市債	0	0	0	0	-
	その他	0	0	0	0	-
	一般財源	0	1,000	1,798	2,798	-

計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)

[18年度]
 事務費の節減200千円
 当初の計画ではウインタースポーツ啓発のための小冊子を作成する予定だったが、その内容に替え、ウインタースポーツ振興方策についての実践研究及び「スキー授業支援事業」等のより実効性の高い事業を行うこととした。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経・臨 臨時	枠内外 枠外	16年度	17年度	18年度	計
ウインタースポーツ振興事業				1,000	1,798	2,798
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			0	1,000	1,798	2,798